



2022年4月15日

報道関係各位

同志社女子大学広報部広報室広報課

新島記念講堂パイプオルガン
新ストップ奉献記念の集い 開催
～心に響く低音色 手鍵盤 Montre16'～

2001年に設置された新島記念講堂のパイプオルガンは、バッハのオルガン音楽だけでなく、フランス古典からロマン派、近現代に至るまで幅広いレパートリーの演奏が可能となるよう工夫されており、中でも手鍵盤 32 フィートストップを備えていることが大きな特徴です。

地の底から響くような、実に「石づくりの教会のような深い響き」を求め、手鍵盤 Grand Orgue (グランドオルグ) に Montre (モントル) 16 フィートという、低音を響かせる音色のストップ (音栓) を新しく加える工事を行い、奉献記念の集いを開催する運びとなりました。

マスコミ各社様には「イベント告知」ならびに「取材」をお願いしたく、ご案内申し上げます。開催日時・場所・内容の詳細は、以下のとおりです。

「取材」にお越しいただける場合は、お手数ですが 2022年6月17日(金) 17時までに、本学広報課宛に FAX (別紙) または電話 (0774-65-8631) でご連絡くださいますようお願いいたします。

日 時 : 2022年6月18日(土) 14:00 開会 (13:30 開場)
場 所 : 京田辺キャンパス 新島記念講堂
入 場 料 : 無料 (一般来聴可、要事前申込)
申 込 み 方 法 : 本学 Web サイトより申込み
新ストップ設置解説 : 都留 裕幸氏
演 奏 : ジャン=フィリップ・メルカールト氏
曲 目 : J. S. バッハ : ピエス・ドルグ (幻想曲) ト長調 BWV572
C. フランク : 前奏曲、フーガと変奏曲 op. 18
M. デュリュフレ : 組曲 op. 5 “前奏曲” “シシリエンヌ”
“トッカータ” ほか



本学Webサイト

解説者・演奏者 プロフィール

都留 裕幸氏（ヤマハ株式会社 パイプオルガン技術主管）

オルガンビルダー。日本国内ビルダーでの修行の後、フランスのケルン社、コワラン社にて技術研鑽。1992年フランスのオルガン建造者資格を取得。1995-96年フランス・ボルドー市の歴史的オルガン（ドン・ベドスオルガン）の修復参画。過去35年にわたり日本各地のオルガン建造、オーバーホール、保守業務に従事。

ジャン＝フィリップ・メルカールト氏（那須野が原ハーモニーホールオルガニスト）

ベルギー生まれ。パリ国立高等音楽院でオルガンをオリヴィエ・ラトリー、ミシェル・ブヴァールに師事し、2005年プルミエ・プリを得て卒業。その後ブリュッセルのベルギー王立音楽院にてクラシック作曲法を学び、2007年修士号を取得。同年、フライベルクにおけるジルバーマン国際オルガンコンクール第2位受賞。札幌コンサートホール、所沢市民文化センターミュージズホールにてオルガニストを務めた。

現在はオルガニストの他、オルガン講師やオーケストラ曲の編曲、CDのリリースなど多岐にわたり活躍。

[写真:新島記念講堂]

主催・問い合わせ:同志社女子大学宗教部 TEL 0774-65-8471

開催地:京田辺キャンパス

新島記念講堂

同志社女子大学広報部広報室広報課／広報課長 渡邊一郎

電話 0774-65-8631

FAX 0774-65-8632

e-mail: koho-t@dwc.doshisha.ac.jp

同志社女子大学広報課宛

(FAX: 0774-65-8632)

取材連絡票

2022年6月18日(土)

同志社女子大学 京田辺キャンパス 新島記念講堂

新島記念講堂パイプオルガン 新ストップ奉獻記念の集い

連絡先(ご氏名は取材代表者の方をお書きください。)

貴社名: _____

ご氏名: _____

電話: _____

2022年6月17日(金) 17:00までにFAXでお送りくださいますようお願いいたします。